

公立高等学校の活性化

【現状と課題】

高等学校教育の充実のためには、教職員の指導力の向上、生徒の学ぶ意欲の向上に向けた取組を進めるとともに、各学校の地域との連携や特色ある教育活動を推進する必要があります。

大幅かつ長期的な生徒減少が進む中で、高等学校教育としての専門性の確保、教育水準の維持・向上を図るため、平成22年度を目標年次として「かごしま活力ある高校づくり計画」(平成15年度策定)に基づいて、7地域で15校の再編整備を進めてきたところですが、今後も学校規模の適正化を図るため、23年度以降の高校再編等をどのように進めていくかを検討する必要があります。

【これからの施策の方向性】

生徒の学力向上、学校の特性を生かした教育活動の充実、学校運営の改善、教職員の資質向上等を推進し、学校の活性化を図ります。

高等学校の活力や専門性、教育水準の維持向上を図るため、県立高等学校の再編整備等を推進します。

【主な取組】

「県立高校学力向上推進プロジェクト」事業等に基づく取組により、進学や就職に対応できる学力の向上に努めます。

地元企業、大学等との連携を推進し、学校の活性化を図ります。

学校評価等により、学校運営の改善や学校組織の活性化を推進します。

研修の充実や教職員の人事評価制度、教職員表彰制度等により、教職員の意欲を高め、資質向上を図ります。

学識経験者や産業・経済、教育、行政の関係者からなる委員会を設置し、平成23年度以降の高校再編等の進め方について検討します。